

28年調査事項と24年調査事項との対比表([02] ~ [09] 調査票産業特性事項)

28年調査調査事項(案)	24年調査において対応する調査事項					
<p>この事業所に従事している人の男女の計、毎月末現在数([04] 製造業) 従業者数を26年基礎調査に合わせ表頭と表側を入替えたことに伴う変更</p>						
<p>_____</p> <hr/> <table border="1" data-bbox="145 502 974 566"> <tr> <td data-bbox="145 502 347 566"> (3)この事業所に従事している人の男女計 (男+女+計) </td> <td data-bbox="347 502 436 566"> <input type="text"/> 人 </td> <td data-bbox="436 502 627 566"> (3)が20人以上の場合、(4)を記入 してください。 </td> <td data-bbox="627 502 873 566"> (4)左記(3)から(2)を除外した人の毎月末現在数 (平成27年1月から2月の合計を記入してください。 </td> <td data-bbox="873 502 974 566"> <input type="text"/> 人 </td> </tr> </table>	(3)この事業所に従事している人の男女計 (男+女+計)	<input type="text"/> 人	(3)が20人以上の場合、(4)を記入 してください。	(4)左記(3)から(2)を除外した人の毎月末現在数 (平成27年1月から2月の合計を記入してください。	<input type="text"/> 人	<p>[第1面]</p> <div data-bbox="1339 311 1550 785" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(2) 貴事業所に従事し ている人の男女 (男+女+計+計)</p> <p><input type="text"/> 人</p> <p>(3)が20人以上の情 報、(4)を記入して ください。</p> <p>(4) 上記(3)から(2)を 除外した人の毎月 末現在数(平成27 年1月から2月まで の合計)を記入し てください。</p> <p><input type="text"/> 人</p> </div>
(3)この事業所に従事している人の男女計 (男+女+計)	<input type="text"/> 人	(3)が20人以上の場合、(4)を記入 してください。	(4)左記(3)から(2)を除外した人の毎月末現在数 (平成27年1月から2月の合計を記入してください。	<input type="text"/> 人		

第2面([04] 製造業)
工業統計調査に合わせ配置変更

8時間換算雇用者数([05] 卸・小売業)
従業者数を26年基礎調査に合わせ表頭と表側を入替えたことに伴う変更

【⑤ ④以外の人】について、8時間換算雇用者数を記入してください。(増数は切り上げ)

人

【例: 9時間が3人、5時間が1人、6時間が2人の場合】

$$[(3 \times 3) + (5 \times 1) + (6 \times 2)] \div 8 \text{時間} = 3.25 \Rightarrow 4 \text{人}$$

【第1面】

③ 【⑤ 上記以外の常用雇用者】の8時間換算雇用者数(増数は切り上げ)

【例: 3時間が3人、5時間が1人、6時間が2人の場合】

$$[(3 \times 3) + (5 \times 1) + (6 \times 2)] \div 8 \text{時間} = 3.25 \Rightarrow 4 \text{人}$$

人

28年調査調査事項(案)

24年調査において対応する調査事項

商品手持額(〔05〕卸・小売業)
 年初商品手持額と年末商品手持額に分割

〔第2面〕

18 年初及び年末商品手持額

平成27年の年初及び年末現在で、販売目的で保有しているすべての手持商品額(在庫額)を記入してください。
 外国の会社、法人でない団体は、記入する必要はありません。(万円未満四捨五入)
 記入困難な場合は、平成27年を最も多く含む決算期間の決算日又は繰越日で記入してください。

	千	百	十	千	百	十	万	円
年初商品手持額								0000
年末商品手持額								0000

・原則として仕入れ仕訳の簿価(仕入れ簿価)を記入してください。
 ・その場で転売し小売する(転売小売)商材については、その簿価及び転売簿価を合算します。
 ・貸受用倉庫、倉の借入れによる仕入れ簿価、仕入れ簿価と一致している場合は、仕入れ簿価を合算します。
 ・商品手持額が無い(商品が在庫で持たない)場合は、〇(ゼロ)を記入してください。

16 商品手持額

平成29年11月31日現在で、販売目的で保有しているすべての手持商品額(在庫額)を記入してください。
 この期間で記入困難な場合は、平成29年を最も多く含む決算期間の決算日又は繰越日で記入してください。

千	百	十	千	百	十	万	円

・原則として仕入れ仕訳の簿価(仕入れ簿価)を記入してください。
 ・その場で転売し小売する(転売小売)商材については、その簿価及び転売簿価を合算します。
 ・貸受用倉庫、倉の借入れによる仕入れ簿価、仕入れ簿価と一致している場合は、仕入れ簿価を合算します。
 ・商品手持額が無い(商品が在庫で持たない)場合は、〇(ゼロ)を記入してください。

年間商品仕入額(〔05〕卸・小売業)
 調査事項に新規追加

19 年間商品仕入額

平成27年1月から12月までの1年間の商品仕入額を記入してください。
 外国の会社、法人でない団体は、記入する必要はありません。(万円未満四捨五入)
 この期間で記入困難な場合は、平成27年を最も多く含む決算期間で記入してください。

千	百	十	千	百	十	万	円
							0000

28年調査調査事項(案)

24年調査において対応する調査事項

商品売上原価(【05】卸・小売業)
調査事項から削除

【第2面】

(削除)

17 商品売上原価 平成23年1月から12月までの商品売上原価（年間商品販売額に対する仕入原価）を記入してください。外国の会社、法人でない団体は、記入する必要はありません。

千円	百円	十円	千円	百円	十円	千円	百円	十円	千円

（平成23年度+当年仕入額-平成23年度より計算してください）

店舗形態(【05】卸・小売業)
選択肢に「コンビニエンスストア」を追加

【第2面】

25 店舗形態 この事業所の店舗形態について、該当するものがある場合は、番号を一つだけ○で囲んでください。

25 店舗形態 貴事業所の店舗形態について、該当するものがある場合は、番号を一つだけ○で囲んでください。

店舗形態	
1 各種食料品小売店	各種食料品を中心に小売する事業所 「野菜・果物」、「肉」、「魚」、「酒」、「菓子・パン」、「その他の飲食品」のうち、3分類以上にわたる商品を販売している商店、スーパー
2 コンビニエンスストア	飲食品を中心にセルフサービス方式により小売する事業所で、店舗規模が小さく、終日又は長時間営業を行う事業所 飲食品を中心に販売していること。
3 ドラッグストア	医薬品、化粧品を中心にセルフサービス方式により小売する事業所 「一般用医薬品（医師の処方箋を必要としないもの）」を販売していること。調剤薬局は、該当しません。
4 ホームセンター	主として住まいの手入れ改善にかかる商品を中心に、住関連商品を品揃えし、セルフサービス方式により小売する事業所 「金物」、「塗料」、「苗・種子」のいずれかを販売していること。

店舗形態	
1 各種食料品小売店	各種食料品を中心に小売する事業所 「野菜・果物」、「肉」、「魚」、「酒」、「菓子・パン」、「その他の飲食品」のうち、3分類以上にわたる商品を販売している商店、スーパー
2 ドラッグストア	医薬品、化粧品を中心にセルフサービス方式により小売する事業所 「一般用医薬品（医師の処方箋を必要としないもの）」を販売していること。調剤薬局は、該当しません。
3 ホームセンター	主として住まいの手入れ改善にかかる商品を中心に、住関連商品を品揃えし、セルフサービス方式により小売する事業所 「金物」、「塗料」、「苗・種子」のいずれかを販売していること。